

いつでも誰でも行きやすい
フェーズフリーの公民館を目指して
「超・ひなん所」見学会

当事業はボートレース鳴門の収益で実施しています

主催 避難所バリアフリーをすすめる会

地区住民説明会

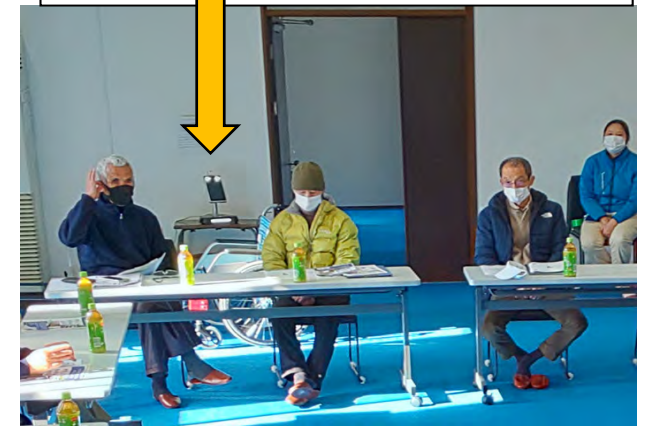
川東公民館において「超ひなん所見学」を開催するにあたり、川東自治振興会・自主防災会の皆様に趣旨説明を、行いました。



2022/1/14 川東自治振興会において、見学会開催の説明を行っているところ

川東公民館の館長や自主防災会役員との打ち合わせ、自治振興会での説明や建物のバリアフリー調査は2021年8月25日から10回を重ねました。

新型コロナウイルス感染症の対策として、サーモカメラを活用しています



2021/11/30

イベント企画会議

於：川東公民館



川東公民館は年間、41団体、
延べ900名が定期的に利用している。
登録は、90団体1500名の利用。

【イベント提案者】

「避難所バリアフリーをすすめる会」

【イベント開催理由】

近年頻発する自然災害により、ハザードマップで避難所の場所を確認することはあっても、そこにはどのような設備があるかを知る人は少なく、避難警告があってもその対象地域から避難する人は 0.1～0.5%にとどまる。ましてや障害者からは「配慮がされていない避難所へは行きたくない、行けない」という意見がある。災害時要配慮者の孤立を防ぐためにも、避難所の設備情報を発信することで、全ての人に多様な避難方法を考えてもらえるきっかけとし、発災時にはためらわず避難をして命を守ることを目的とする。

【イベント名】 超・ひなん所見学会

【イベント開催趣旨】

公民館において、一般の学習プログラムとして「超・ひなん所」を体感できる参加型イベントを 10 日程度、開催する。

災害が起こってから開設するのとは違い、予め多様な人が利用することを想定して、フェイズフリー商品や工事を伴わないバリアフリー商品の設置や、サービスへの配慮がなれさたしつらえを体感できるイベントとする。

普段、公民館を利用していない人や、その地域以外からも広く参加をしてもらい「災害時要配慮者への配慮には何が必要なのか」を、平時に「わがこと」としてじっくりと考えることで、情報共有や新たな発見ができる。

日々の生活においては、見学会を通して得た、商品知識を普段の生活に活用することができる。

災害時には、イベントでの体験や知識、商品を活用して災害に対応することができる。

【公民館の役割・イベントの効果】

日常時

公民館は、近隣地域住民が健康増進や学習の場(高齢者教室・女性学級・健康教室等)として活用されている場所。
自主防災会、婦人会、地域団体とのネットワークを持つ。

非常時

災害時には指定緊急難場所としての役割を持つ。
大雨災害時、優先的に開設する避難施設でもある。

イベント中・後では、

日常時

【連携】 各団体や行政に対して、イベントの広報を行うことで、情報の更新やネットワークの強化を図ることができる。

【物資・サービス】 物資の不足や設備の故障などの確認を行う。

【受入れ】 地域外からの多様な人に参加してもらうことで、多様な人の受け入れ体験をすることができる。

非常時

【連携】 行政との連携や地域のボランティアとの連携を活かすことができる。

【物資・サービス】 イベントでの知識を活用して、配慮すべきことやモノをボランティアセンターへ迅速に要求することができる。

【受入れ】 多様な人への受け入れ態勢を迅速に行うことができる。

市民の立場から

公民館を利用する機会のない人にも、参加型のイベントとして興味を持って足を運ぶことができる。
公民館の設備や段差の有無、など建物の状況を知ることができる。
公民館を運営する人や、近隣の人と出会うきっかけとなる。
公民館までの道順を確認することができる。

市民の立場から

「避難所」となる場所の設備で、自分に適した場所を選択することができる。
自分にとって必要なモノを準備して避難所に行くことができる。
設備や運営する人を知っていることで、躊躇せず避難ができる。
避難した先で少しでも顔なじみの人がいれば、不安の軽減となる。
避難所までの安全な道を選ぶことができる。

【イベントに向けて工程表】

10/8(金)川東自治振興会で参加者(20名程度)に、趣旨説明を行う	理解・賛同を得て、参加協力の依頼をする
「バリアフリー調査」時の当事者スタッフを確保する	当事者からの意見を聞いて、サービス・配慮を検討するため、地域住民、車いすユーザー、聴覚・視覚等障害者、子供連れ等。
12/5(日)川東公民館の「バリアフリー調査」を行う	多様な人々からの視点で施設のバリアを調査する <ul style="list-style-type: none"> ● 建築士による建築的調査(通路幅・段差・設備等) ● 多様な人々の視点からみた、必要な配慮の聞き取り調査 (避難所で2泊すると想定して、自分にとって何を必要とするのか、どんな配慮をしてほしいか)
調査報告書を作成する。	バリアフリー方法を検討し、展示する商品選択や必要なサービスを検討する
展示する商品のリストアップ	商品の購入・レンタル等、調達の方法と担当者を検討する
12/10(金)川東自治振興会で参加者(20名程度)に、イベント説明を行う	具体的に内容説明をして商品購入の調達依頼をする
1月14日(金)川東自治振興会で参加者(20名程度)に、イベント説明を行う	具体的に内容説明をして、イベント参加の依頼をする
2022年2月5日から2月13日の間、土日をはさむ10日間をイベント期間とする	多数の参加を呼び掛ける
イベント当日には、市長を交えたセレモニーを行う	マスコミにも広報協力を仰ぎ広く訴求効果を期待する
教育委員会にも呼びかけて、子供たちに学習に来てもらう	教育大・支援学校教諭希望の学生にスタッフ参加依頼
参加型イベントを検討する	色の見え方の不思議体験 段ボールベッドの組み立て JINRIKI・車いす介助体験 ガラス飛散防止フィルムはり 避難所の調理・食事 避難所の遊び場



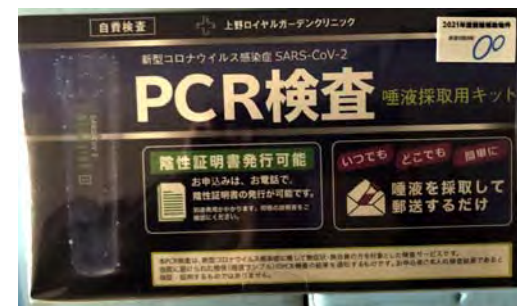
避難所として指定されている公民館は
非常時でも日常でも、子ども・妊婦や赤ちゃん連れの人・
高齢者・障がいのある人など、いつでも・誰もが、
行きやすい・居やすい、環境をつくることを
みんなで考えよう！という事業です。

2021年5月に事業の採択が決定してから、新型コロナウイルス感染症の拡大状況においては中止または変更となることも念頭に準備を進めてまいりました。

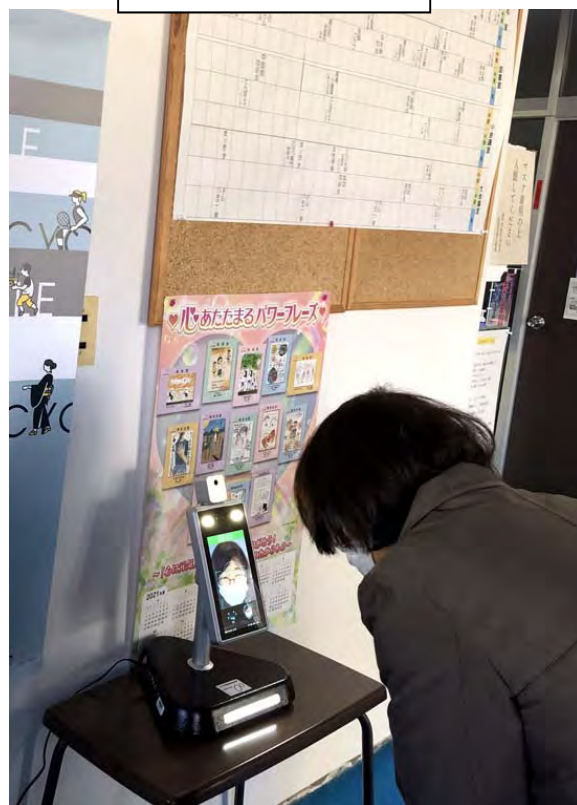
感染者数は秋頃から落ちついてきたものの、開催日が近づくにつれ更なる感染拡大の様子を見せたため、見学会は無観客とせざるを得ませんでした。

しかし、開催を楽しみにしてくれている住民のため、テレビ鳴門にオンライン講演や展示の様子を放映してもらえるように依頼して、展示と講演の撮影を2月6日に開催しました。

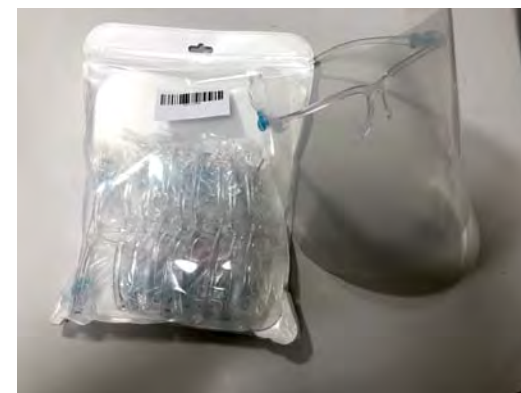
その際、スタッフやその家族には事前に「PCR検査」で陰性を確認し、非接触型体温計カメラやマスク・アルコールスプレー・フェイスシールドを使用して、感染対策を十分に行いました。



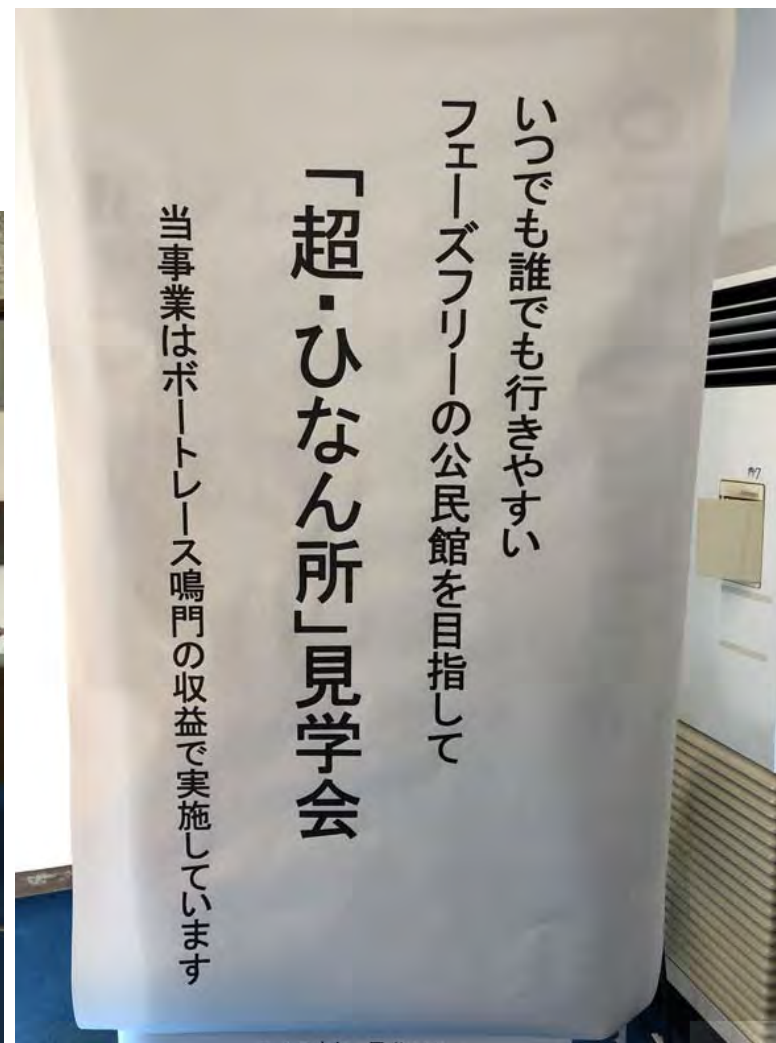
2022/2/5 設営時



2022/2/6 TV撮影時



2022/2/6 川東公民館
いつでもだれでも行きやすい フェーズフリーの公民館を目指して
「超・ひなん所見学会」 垂れ幕





*
*

災害備蓄品を見よう、試そう！

公民館にはどんなものが、
いくつ備蓄されているのでしょうか？

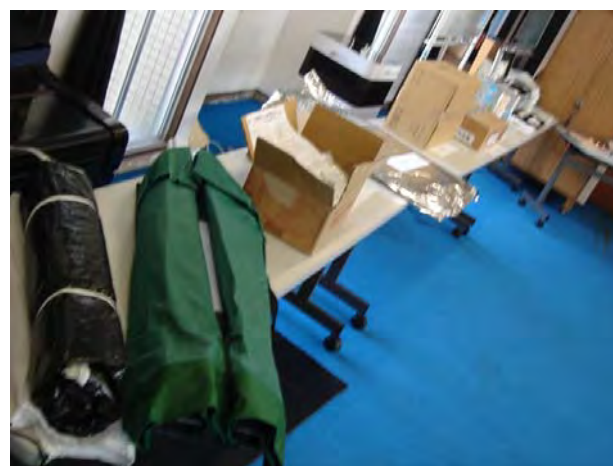
協力

川東公民館自治会の皆さま

川東公民館では、2階大会議室にある舞台の下に災害備蓄品を収納していました。



2022/2/6 川東公民館 2階大会議室 災害備蓄品、家具転倒防止方法のバナー展示



2022/2/6 川東公民館 2階大会議室

災害備蓄品、家具転倒防止方法のバナー展示



備品の説明、家具転倒防止等対策説明やそれぞれのイベントの手話通訳は「あたたかい手コラボ」の皆様にご協力をいただきました。

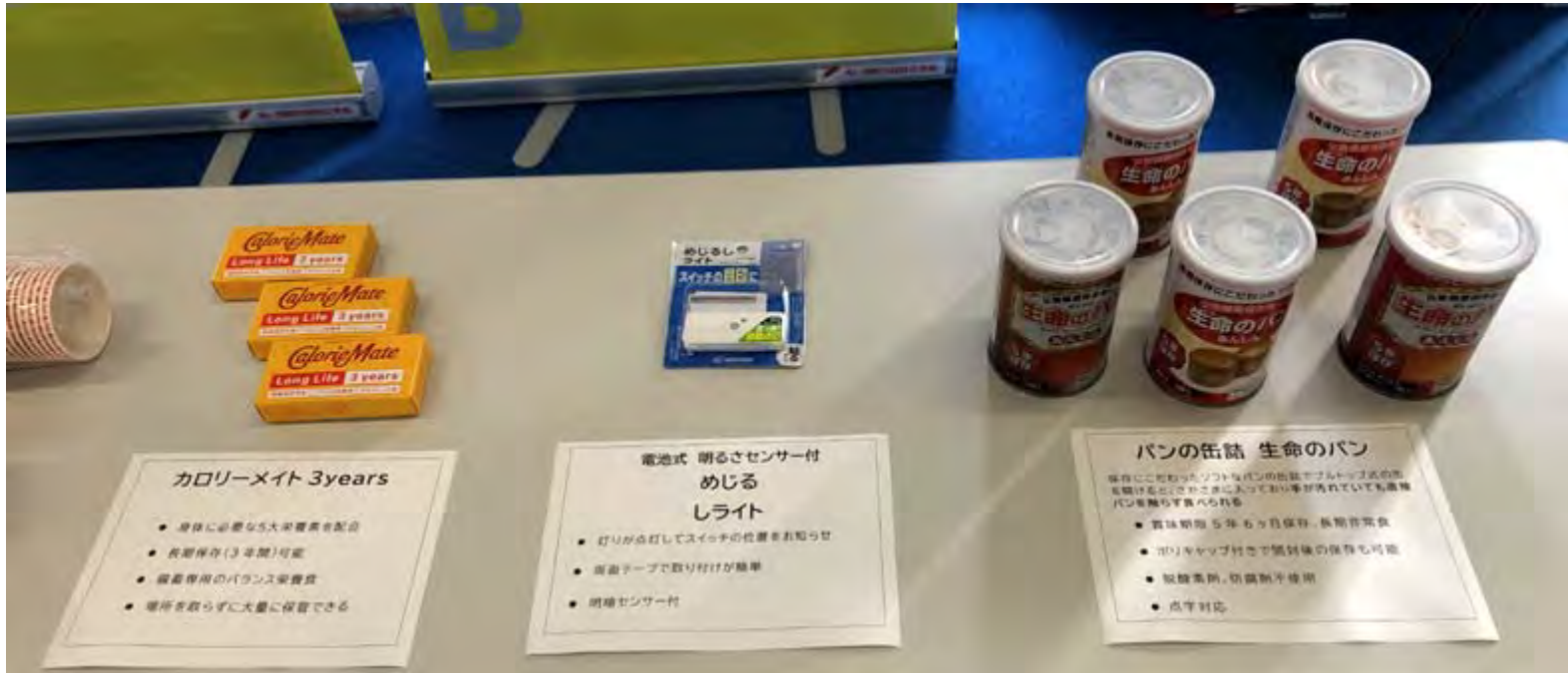


災害時にあったら便利なグッズコーナー



ストローで膨らますエアーマット





カロリーメイト 3years

- 身体に必要な5大栄養素を配合
- 長期保存(3年間)可能
- 備蓄専用のバランス栄養食
- 場所を取らずに大量に保管できる

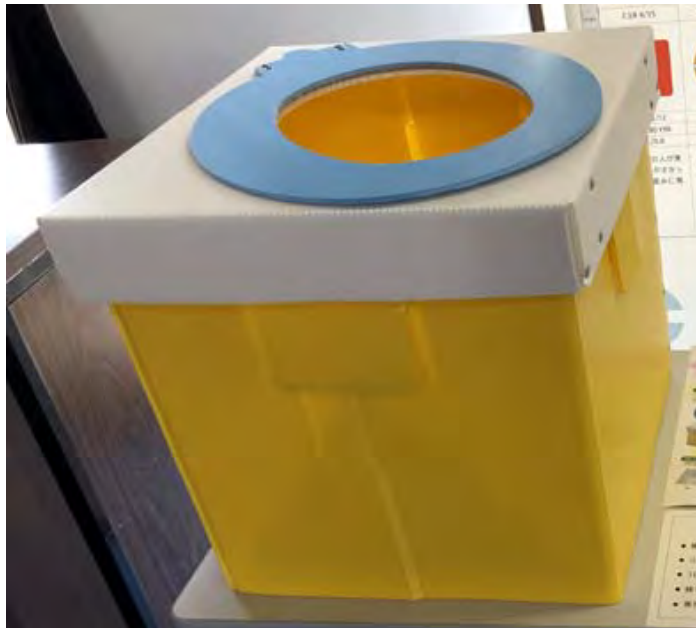
**電池式 明るさセンサー付
めじるしライト**

- 釘りが点灯してスイッチの位置をお知らせ
- 両面テープで取り付けが簡単
- 明るさセンサー付

パンの缶詰 生命のパン

保存にこだわったソフトなパンの缶詰でブルジョア的な
も聞けることかごまかに入れておき手が汚れていても
パンを触らず食べられる

- 賞味期間 5年 もっ月保存、長期非常食
- ポリキャップ付きで開封後の保存も可能
- 脱酸素剤、脱酸素剤不使用
- 点字対応

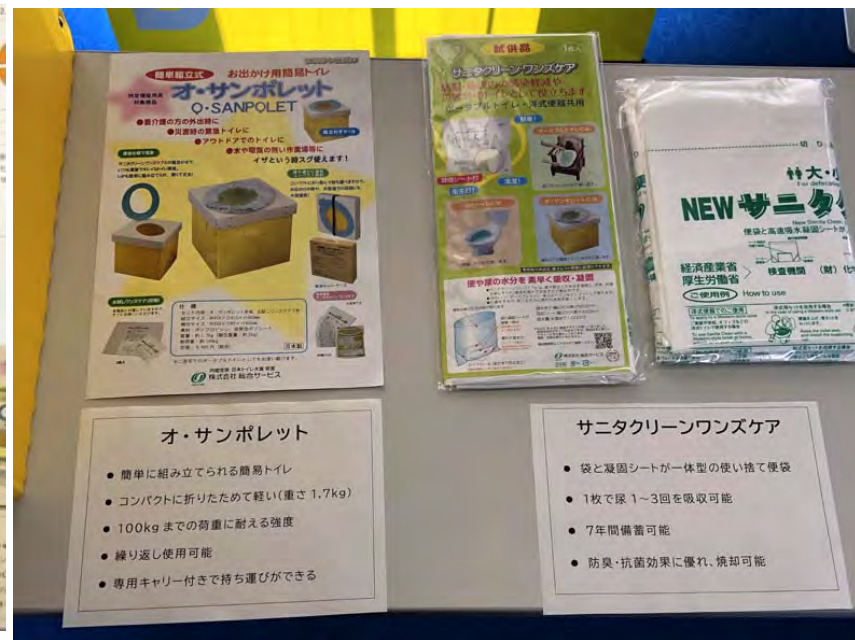


オ・サンポレット

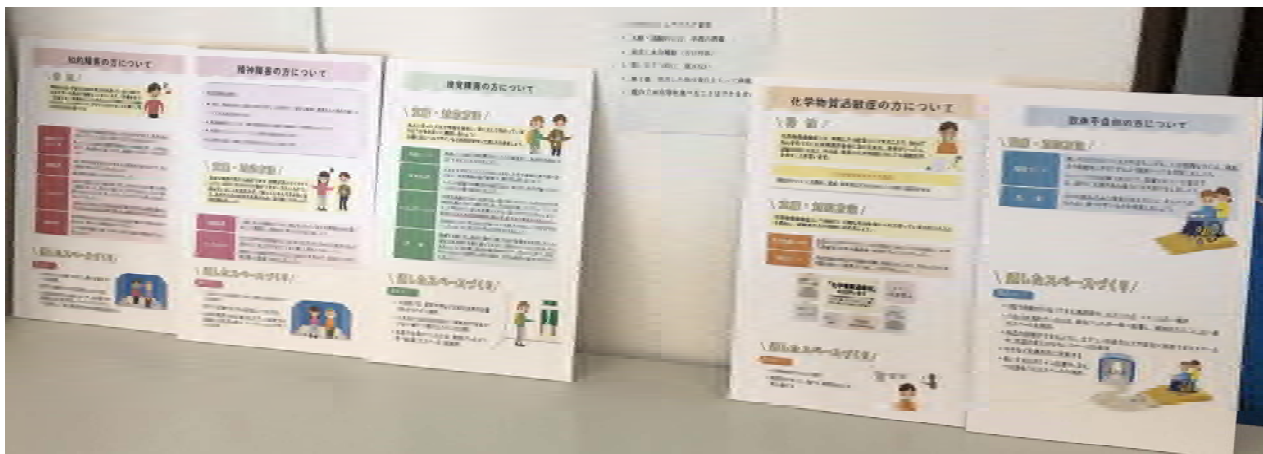
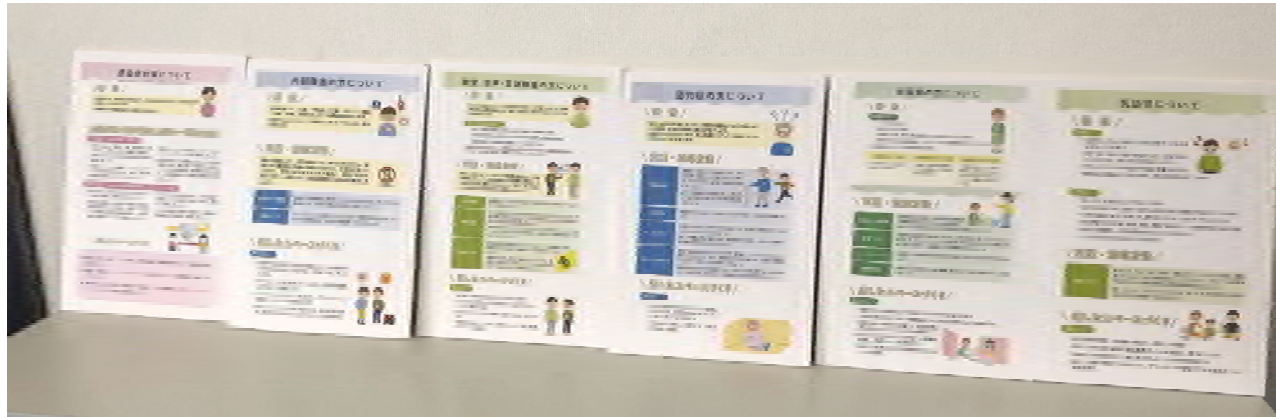
- 簡単に組み立てられる簡易トイレ
- コンパクトに折りたためて軽い(重さ 1.7kg)
- 100kg までの荷重に耐える強度
- 繰り返し使用可能
- 専用キャリー付きで持ち運びができる

サニタクリーンワズケア

- 袋と凝固シートが一体型の使い捨て便袋
- 1枚で尿 1~3回を吸収可能
- 7年間備蓄可能
- 防臭・抗菌効果に優れ、焼却可能



障害別「要配慮者支援のポイント」パネル展示



感染症対策について

※インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルスなど

特性

感染症とは、病原性の微生物が、人の体内に侵入することで引き起こす疾患のことを言います。
 避難所内で集団感染する可能性があります。

感染(疑い)者が発生した時の一時的な対応

感染(疑い)者が発生した場合

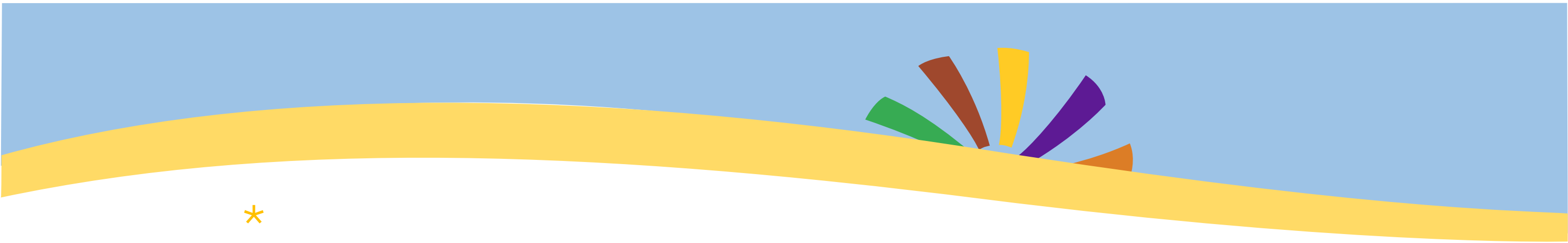
- 疑いのある人(嘔吐、下痢、発熱等)を見つけたら、直ちに市町村職員に連絡し、指示に従う。また必要な物資等があれば要請しよう。
- 専用スペースへの移動、パーティションやテント等を使用するなど、直ちに他の避難者と接触しないようにしましょう。
- 専用スペースに入る時は、マスク・フェイスシールド・ガウン・手袋を着用しよう。
- 感染を防ぐため頻繁な手洗いや手指消毒を心掛け、嘔吐物や下痢便の処理は、マスク、手袋を着用し新聞紙等で拭き取り、次亜塩素酸など塩素系消毒液を使用しよう。

感染(疑い)者と他の避難者が接触しないようにしたあと

- 感染(疑い)者が生活していた居住スペース周辺の清掃、消毒を行おう。
- 周囲の避難者にも感染の可能性(無症状の感染者がいる可能性)があることを伝え、体調不良者の有無を確認し、必要な場合は専用スペースへ移動させよう。
- ゴミやリネン類の洗濯など、汚染物質が付着している可能性があるものは、取扱いに注意しよう。
- 人が多く触れる場所の消毒や、避難者の健康状態を定期的に確認しよう。

適したスペースづくり

- 感染(疑い)者は、トイレも含め、他の避難者との動線を完全に分け、接触を可能な限り避ける
- 個室への移動、パーティションやテントでの仕切りなど、一般の避難者と接触しないようにする
- 感染疑いのあるもの同士とする場合は、十分な距離をとるほか、パーティション・テントなどで飛沫の拡散を防止する



*
*

安全な車椅子介助

じんりき
JINRIKIで心地よく移動！

協力

ヒューマンケア徳島 代表 天野善仁

2022/2/6 川東公民館

「安全な車椅子介助」 JINRIKIで心地よく移動！

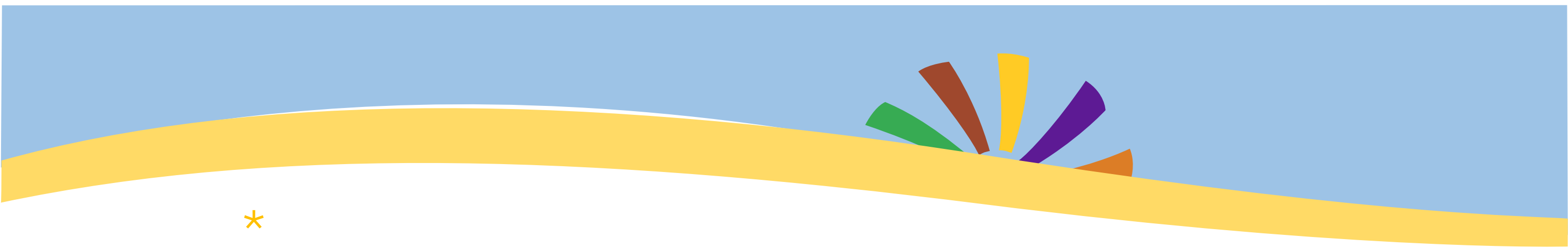


車椅子ユーザーである、ヒューマンケア徳島代表 天野善仁氏の車椅子を川東自主防災会の方が押して、玄関のスロープをスムーズに移動できるかを試しました。

また、車椅子を押して段差を超える場合、安全に上り下りをする介助方法を、福祉用具専門員の指導により学びました。

また、車椅子に簡単に装着できるけん引機「JINKRKI」を使うと外部の砂利道でも軽い力でけん引できることを、川東公民館の駐車場で体験しました。





*
*
*
試そう！美味しい・簡単、非常食

家庭でも役立つ、備蓄している非常食の
美味しく簡単な作り方

協力

管理栄養士

もとひろ えつこ

管理栄養士 もとひろえつこさんからは、避難時は、カロリー摂取量が減りがちなので、普段は食べないようなスナックなどでも積極的にカロリーをとるとよいことや、一人分ずつの白米をポリ袋に入れて湯銭で炊く方法を教えてもらいました。





* *

子どもの遊び場 in ひなん所

子どもをストレスから守るための遊び支援を！

協力

鳴門教育大×おもちゃ王国「産学共同研究」プロジェクト

子ども遊び場 in ひなん所



「避難所における子どもへの対応」
鳴門教育大学 阪根健二特命教授

過去に起こった災害時に、避難所では子どもの遊び場がなく、子どものストレスが問題となりました。

そこで開発された下記のレールのおもちゃは組み合わせてボールを転がすというシンプルで、頭と体を使って狭い場所でも長時間遊べるものです。

川東公民館の1階和室を子どもの遊び場と想定して、鳴門教育大学とおもちゃ王国の「産学共同研究」によるおもちゃを展示しました。

ブロックのおもちゃは柔らかく丸みがあり、大きな音がしません。また誤飲も防止できる大きさとなっていて、洗濯ネットに入れて洗うことで衛生面にも配慮されたものです。





*

*

窓ガラスが割れてもケガをしないために

ガラス飛散防止フィルムを貼ろう

協力

川東公民館自治会の皆さま

2022/2/6 川東公民館 図書室
「ガラス飛散防止フィルムを貼ろう」

川東地区自主防災会の皆さんには、ガラス飛散防止フィルムを実際に図書室の窓ガラスに貼っていただきました。





*

*

避難所・災害時のCUDを学ぶ

カラーユニバーサルデザインで
安心・安全なまちづくり

協力

カラーユニバーサルデザイン機構

伊賀公一

カラーユニバーサルデザインで安心・安全なまちづくり・「避難所・災害時のCUDを学ぶ」

カラーユニバーサルデザイン機構 副代表理事 伊賀公一



避難所とCUD

CUD(カラーユニバーサルデザイン)

避難所

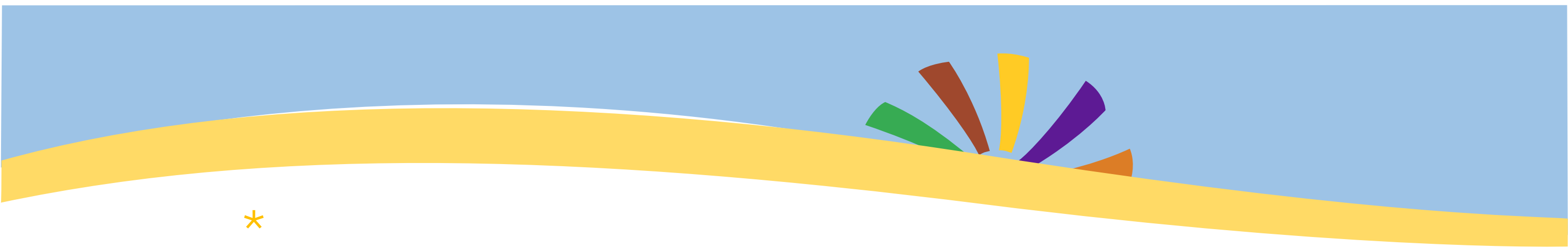
災害



伊賀公一さんからは、避難所ではいろんな色を使って表示をすることがあるが、実際の体験から、停電時に限られた灯りの下では色を区別することが難しいので、色に頼らず「大きく・はっきり・わかりやすく」表示する方がよいとのことでした。

また、備品や施設の案内に使うPOPやシール・テープのセット「避難所設営シールセット」という、CUDに配慮されている商品の紹介をしていただきました。





*
*

災害から子どもを守るには

アウトドアの知識で子どもを
災害から守りましょう！

協力

アウトドア防災ガイド

あんどーりす



あんどうりすHP

— 子どもを災害から守るために — 「アウトドアから学ぶ防災術」

アウトドア防災ガイド あんどうりす

2022

©あんどうりす

あんどうりすさんからは、一年を通して、災害時には水に濡れてしまうことは命取りになるので、寒さや水に濡れることを防ぐことのできる素材でできた、軽くて暖かいアウトドア用の服の紹介がありました。今持っている洋服を見直して、普段にも災害時に役立つ服を選んで、収納を減らしていけば、家具の数も少なくてすみ、家具転倒防止にも役立ちます。

水害の被害が大きくなる可能性がある鳴門市においては、常からハザードマップを確認して、浸水前に避難をすることが大切なことです。

また、子どものアレルギー対策としては、災害時に牛乳パックを「まな板」の代わりに利用することは非常に危険であること、当事者の声をよく聞いて、当事者も避難所運営チームに参加してもらうこと、小さな子ども連れの保護者には、今まで通りの育児ができるように手助けをすること、などが重要であると学びました。

2003年こどもの出産した際、ママ友に阪神淡路大震災の経験とアウトドアのスキルを伝えた事から赤ちゃん防災を提案。

子育てバックの中身は、防災に役立つヘッドランプは遊びにも使えるなど具体的な技を紹介してきた

2022

あんどうりす



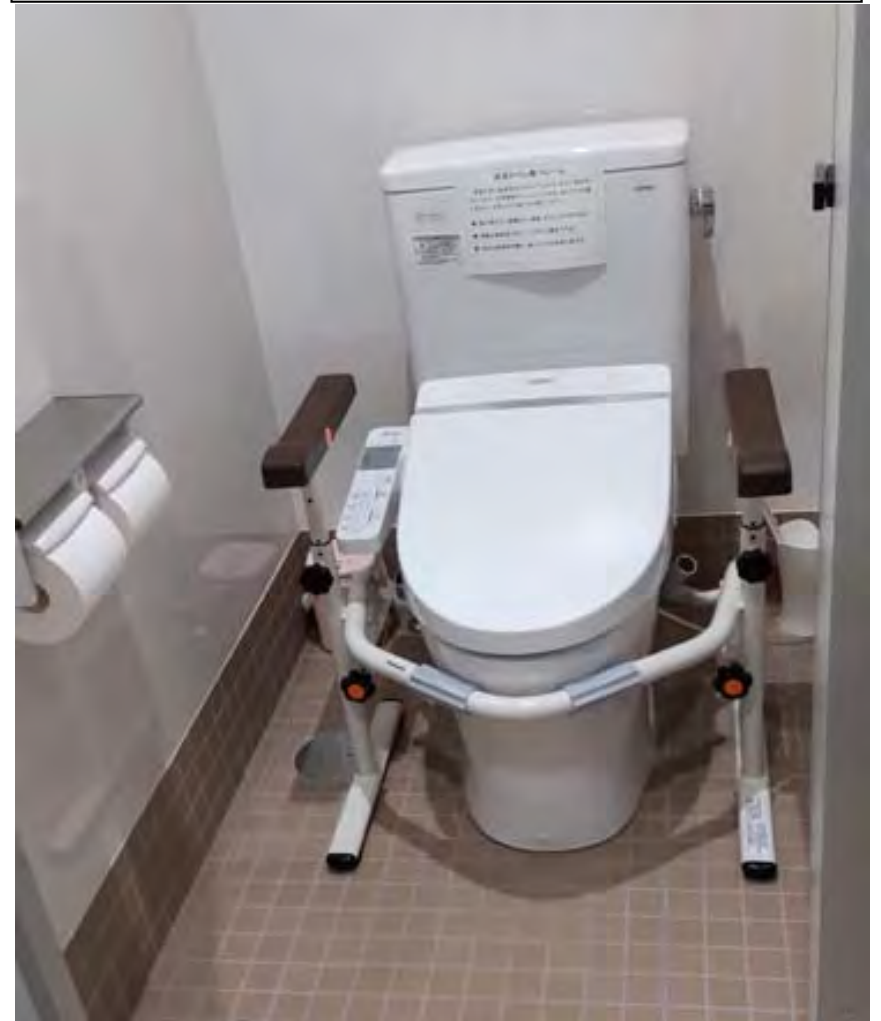
2022/2/6- 川東公民館

安全に使える手すりを1カ月レンタルして紹介しました

玄関「上がり框用手すり」
工事が不要で置くだけです



1階トイレ「洋式便器用手すり」
便器を挟み込んでねじで止めるので工事は不要です



工事のいない垂直手すりの提案

手すりがない階段に、床と天井で支える垂直手すりは道具もいらず、簡単に組み立てられます。

